

第 458 回今別町議会定例会会議録（第 2 号）

第 2 日（6 月 1 1 日 午前 1 0 : 0 0 開議）

出席議員 7 名

1 番	本 間 闕 士 君	2 番	太 田 英 一 君
3 番	田 中 哲 也 君	4 番	小 倉 潤 二 君
5 番	成 田 精 市 君	6 番	本 郷 良 克 君
7 番	福 士 和 比 古 君		

欠席議員 なし

地方自治法第 1 2 1 条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中 嶋 久 彰 君
教 育 長	勝 野 義 彦 君
会 計 管 理 者	川 村 一 樹 君
税 務 会 計 課 長	
総 務 課 長	嶋 中 拓 実 君
企 画 財 政 課 長	岩 渕 健 君
町 民 福 祉 課 長	佐 渡 慶 剛 君
建 設 水 道 課 長	平 山 寛 哉 君
産 業 観 光 課 長	山 田 基 君
教 育 課 長	中 嶋 正 文 君
総 務 課 長 補 佐	遠 田 剛 洋 君
企 画 財 政 課 長 補 佐	太 田 和 泉 君
町 民 福 祉 課 副 参 事	山 崎 真 直 君
産 業 観 光 課 長 補 佐	田 中 讓 君
代 表 監 査 委 員	田 中 裕 文 君

職務のために議場に出席した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	平 山 治 門 君
事 務 補 助 員	澤 田 祝 子 君

○議長

(本郷 良克 君)

おはようございます。

本会議に入る前に、傍聴される方に連絡事項があります。傍聴人は次のことをお守りください。私語など会議の妨害になることは謹んでください。写真撮影、音声の録音はしないでください。携帯電話の電源はお切りください。その他、会議の妨害になるような行為をした場合は、今別町議会傍聴人規則第 11 条の規定により退場を命ずることがありますのでご了承ください。これで連絡事項を終わります。

ただいまの出席議員は 7 名であります。よって会議を再開いたします。

【 日程第 1 一般質問 】

○議長

(本郷 良克 君)

日程に従いまして一般質問に入ります。

通告の受け付け順に質問を許します。通告及び答弁は、できる限り簡潔明瞭に願います。

なお、質問については同一議題については質問回数の制限をなくし、本人の持ち時間を 2 時間以内とします。また、関連質問並びに通告以外の質問は認めませんので、ご了承ください。

1 番 本間 闘士 議員に質問を許します。

○1 番

(本間 闘士 君)

あらためておはようございます、1 番 本間 闘士です。本日が初の定例議会ということもあり、不慣れな点もあるかと存じますが、あらためてこれから 4 年間、町民の皆様はもちろんのこと、今別町行政執行機関の皆様もよろしくお願いいたします。

また、このたび世界中で流行しております新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に、謹んでお悔やみを申し上げます。新型コロナウイルス感染症の 1 日も早い終息を心からお祈り申し上げます。

それでは私からは大きく 2 点について質問いたします。まず始めに、先ほど冒頭でも触れました新型コロナウイルス感染症についてであります。わが青森県でも緊急事態宣言が解除され、飲食店の営業時間の変更など、様々な部分で規制が

緩和されつつありますが、未だ新型ウィルスへの予断を許さない状況であるのは皆様もご周知のとおりかと思えます。この未知のウィルスに対し、各自治体がそれぞれ独自の支援や助成を行い、人々の暮らしを守ろうと立ち向かってまいりました。これは、当町としても町政の真価が問われる事態ではないかと認識しております。現在、青森県の緊急事態宣言は解除されましたが、これまでと同じ生活をするようになるまでには、もうしばらくの時間を要することが予測されます。町民の皆様に対し、これまでの町政として行った支援及び助成、そしてこれから町としてどのように町民の皆様の暮らしを守るための取組みをしていくのか、さらに今後このような事態が起きた時のモデルケースになり得ることも含めまして、新型コロナウイルス対策についてお聞きいたします。

今回の事態は、当町においても感染者こそありませんが、多くの方々に多大な影響を与えました。そんな中、当町は県内でも迅速にマスクや助成金を支給し、各店舗の経済的な負担軽減を図ろうとした取組みはとても良いと思います。ただし、新型コロナウイルス感染症は、拡大防止策として各個人が不要不急の外出を控えるようにした結果、飲食店や小売店、理美容店だけでなく、収入に影響がある企業や事業所、店舗は町内にたくさんあると思います。

そこで一つ目の質問です。これまでの助成対象以外に、業種を問わず助成金の支援を拡大すれば、少しでも経済的な負担の軽減になるのではと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

次に、新聞報道の記事中にありました、商品券についてです。記事の中では、全町民に対し町内で使える一万円の商品券を7月に支給する予定と報道されました。今月、各家庭に配布されている「広報いまべつ」6月号内に、町内で使用できる商品券、1人1万円分を配布と記載されておりますが、やはり詳細には触れておりません。そこであらためて、その商品券の支給時期・支給対象・商品券の対象となる範囲をお聞きします。

三つ目。これまで新型コロナウイルス感染症に対し「三密」と呼ばれる、密閉・密接・密集を回避するよう求められ、皆外出を自粛するなとして自分の身を守って参りまし

た。ですが、医療・福祉・保育、これらの施設に仕事として従事する職員の皆様は、自分が万が一感染した場合を考えながら、たくさんの不安や葛藤を抱え、日々の業務に当たってこられたと思います。また、医療・福祉・保育は施設の形態上、健康状態の優れない方、高齢者、幼い子どもたちと感染症に対し抵抗力の低い方々が多く集まる場所でもあります。そこで、これまでの当町の、町内の医療・福祉・保育施設に対しての支援状況をお聞きいたします。

次に、子育て世代への政策についてであります。現在、各自治体が若い世代の子育てに対し力を注ぐ政策が多く見られるようになってまいりました。それはとてもシンプルに、子育て世代への支援は、少子化対策と人口増加につながるからです。若い世代にとって、子育てが不安にならないよう町をあげて支援し、子どもたちの笑顔が絶えない、そんな活気のある町づくりを目指すためには、当町においてもとても重要な政策の一つであると考えられます。

そこで質問です。現状の町の子育て世代への政策と取り組み状況についてお聞きいたします。

以上、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

あらためましておはようございます。1番 本間 闘士議員の質問に対してお答えいたします。

議員からは、大きく2点の質問が出されております。1として新型コロナウイルス対策について、2として子育て世代への政策について。

1の一つ目として、町内事業者への助成金に関して、二つ目として町民への商品券の配布について、三つ目として町内の医療福祉への支援状況について。

2番の質問として、現状の町の取り組みについてということですが、現在まで広報誌、新聞等で報道されてきたものがほとんどであります。また、行われてきているものもあります

ので、担当課より経緯等説明させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
総務課長。

○総務課長

(嶋中 拓実 君)

あらためておはようございます。1番 本間議員の問1・新型コロナウイルス対策について答弁させていただきます。

町内の事業者への助成金につきましては、議員の皆さんもすでにご存知のことと思いますが、飲食店をはじめ理美容店、飲食料小売店、指定管理施設及び産直販売所に出品されている方々に助成金を給付しております。

これから給付するものについては、町内の小売店、ウニまつり中止によりウニの出品漁業者、遊漁船事業者に、支援金の給付を考えております。

商品券の配布時期につきましては、7月上旬にチラシを每户配布し、その後各地区の会館を活用して町民一人ひとり、1万円を交付したいと思います。プレミアム商品券につきましては10月上旬を計画しております。

町内の医療・福祉施設等への支援状況は、医療・福祉施設は現在11箇所あり、それぞれの施設の規模に応じて3月中にマスクを、3月から5月にかけて消毒液を配布しております。

医療機関では、津軽今別医院にマスク及びガウン、ゴーグル、キャップを、住吉歯科医院にマスクを配布しています。

高齢者福祉施設では、なかやま荘、ぬくもり、ふれあいの里、津軽サポートにマスクと消毒液を配布し、ひよりとえがおにマスクを、それぞれ配布しています。その他、今別こども園にマスクと、かもめ共同作業所に消毒液を配布しております。

以上、よろしく願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

おはようございます。1 番 本間 闘士議員の質問の 2 「子育て世代への政策について」に答弁させていただきます。

現在今別町では、次世代を担う子どもの誕生を祝い、条件が合えば第 1 子から一律 20 万円を給付し、さらにおむつ代の助成・出産記念品を支給しています。

子どもの医療費は、今年度より生まれてから 18 歳に達する日以降の最初の 3 月 31 日まで無料としました。保育料についても、おかずの副食費を含め、無償化を行っています。また、低所得者及び一人親世帯への教育支援の援助も行っています。

さらに、小学校・中学校の給食費の無償化や、高校生の通学の定期代の助成も行われています。

今後も、すべての子どもがすこやかに成長し、質の高い保育や教育が受けられるよう、取り組みを継続していきます。

○議長

(本郷 良克 君)

本間議員。

○1 番

(本間 闘士 君)

これまでの助成対象義援に、業種を問わず助成金の支援を拡大すればという質問に対し、町内の小売店、ウニの出品業者等に支援をするという回答をいただきました。現在ではこれ以外の職種に対して義援をしないという認識でよろしいでしょうか。

○議長

(嶋中 拓実 君)

今の質問なんですけれども、これから福士議員のほうの答弁にもある項目になりますが、消毒液とかそういうのを、あと手洗いの石鹸、今後計画しております。商店とか色々な医療施設、または福祉施設のほうに配布する計画はしています。

○議長

(本郷 良克 君)

本間議員。

○1 番

(本間 闘士 君)

ありがとうございます。本当に、本当にたいへんな新型コロナウイルスの影響で、表に出てこない支出もかなり多い事業所も多いかと思います。感染症を防ぐために、マスクやアルコール(消毒液)、その他備品にけっこうな支出を割いていると思いますので、そういう助成をしていただけると、町内の事業者は助かると思います。

次に、新型コロナウイルスが終息するまでにまだ時間を要すると思います。ですが、その間も第2波、第3波の流行が起こらないとも限りません。これから起こりうる最悪のシナリオを常に可能性の一つとして捉え、町民の皆様の暮らしを守っていく義務が町にはあります。助成や支援も短期間では終わらないおそれがあり、二度三度と継続的な支援が必要であると思いますが、当町としての今後の対応策はどのようにお考えかお聞かせください。

○議長

(本郷 良克 君)

町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

先ほどから総務課長のほうから答弁がありましたように、町では今後の発生、感染拡大を想定した中で、二次的に支援を考えているということは、前にも広報等で発表していることと思います。これからまた色々な場面で色々な業種の方々それぞれに、何と言いましょうか、収入が減とか、色々な部分が出てきましよう。そういう部分でも、しっかりと補填していかなければならないものと思っておりますので、これからの状況を見極めて、今後対策を講じていかなければなりませんので、ぜひとも、議員の皆様方も町の状況等々お調べになられて、私どもにご助言くださればと思いますので、よろしくお願いをいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

本間議員。

○1 番

(本間 闘士 君)

新型コロナウイルスに関しては、これまでの常識が一切通用せず、世界は新たな生活様式を取り入れなければならない必要性を迫られています。当町においても、新型コロナウイルスによる地域経済への影響、また地域住民の不安解消に継続して努めなければなりません。できる限りの支援・助成をし、今別町の経済維持のためにも効果的な財政の運用を期待しています。

次に、2 番の商品券について再質問します。今回の商品券について、普段行われる購入した商品券に付加価値をつけて販売するのはとても良い施策であると思います。ただし、今回の商品券配布は、新型コロナウイルスによって影響を受けた町民の皆様のために配布するものです。今回の商品券での助成という部分に限り、もちろん町内での消費は大事ですが、それ以前に、店舗を限られず柔軟に対応できる現金の支給が私は良いと思うのですが、どのようにお考えでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)

町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

町の対策としての商品券の配布、7 月 10 日以降を一応予定しております。現在作成に当たっております。そのあと 10 月には、今まで町商工会を中心として町が助成して行ってきましたプレミアム商品券、この前も説明しましたように、2 倍のプレミアムを付けての発売となります。今回の一万円の商品券は購入するものではなくて、配布するという形を取っております。町民一人ひとり、2,567 人すべてに一万円の商品券を配布するという形を取っております。これがまた現金ということになれば、町の経済対策という中では、町の中にお金が落ちないということを考えましたので、このような策を取らせていただきました。使用できる業者・商店等々は、その折にまた一覧を作って皆さんに配布したいと思っております。あくまでも町の経済の発展のためにとということで配布する事業でありますので、他町村に行って使えるよ

うな一万円の現金というのは、今のところ考えておりませんので、ご了承願います。

○議長

(本郷 良克 君)
本間議員。

○1 番

(本間 闘士 君)

現金給付については、当町でも色々な考えがあり、商品券という決断をしたと思いますが、町民の方の意見の中には、現金給付のほうが使い方も自由で、より助かるという意見もあります。そのような意見に対し、私はこのような支援を行う際は、こういった意見も取り入れながら柔軟に対応していただきたいと思って質問いたしました。今後、継続的な商品券での助成に関しましても、少しだけお考えいただけると助かります。

次に今回の商品券の申請方法ですが、商品券の申請は申請用紙一式が各家庭に送付されてくるものなののでしょうか。いや、地区によって会館を借りて申請するという方式でしたね、失礼しました。その質問はやめます。

次に3番の質問に行きます。3番の答弁の中にありました、各施設に対しマスク、アルコール(消毒液)の助成、さらにはゴーグルやガウンの助成も行っているというお話でしたが、これは非常に各施設にとっても助かると思います。ただ、施設の形態上、少しくらいの数では全然足らず、やはり他の施設に比べて多く消費する施設でもありますので、その数が適正であるかどうかも含めながら、今後も支給していただけたらと思います。他の自治体では、医療・福祉・保育施設は特に集団感染が起こりやすい状況も踏まえて、従事者に対しても支援を行っています。これからはコロナウィルスの感染状況が変わらない限り、各施設の従事者の身体的・精神的な負担も大きくなると思いますが、そのような現状を踏まえ、町ではどのような取り組みをしていくつもりかお聞かせください。

○議長

(本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

今の質問でありますけれども、3月ぐらいのマスク等が、購入するのが非常に厳しいような状況の時には、各施設のほうから連絡をいただいて、十分な数とは言えないのですけれども、マスク等を配布していました。今現在は、まだまだ購入は困難な状況ではありますけれども、市場に商品が流通し始めておりますので、マスクや消毒液等は各施設が準備していただくというのが、そういう形態になっているものと思います。今の段階で、やはりマスク等が購入できない、そういう状況にあれば、取りあえず現物で役場のほうから、例えば500枚、1000枚なりのマスクを貸します、貸し出します。その代わり、購入された時には現物で返していただくというような方法を考えています。

○議長

(本郷 良克 君)

本間議員。

○1 番

(本間 闘士 君)

一時的に貸すとはいえ、やはり手元にマスクがないと医療従事者はたいへん困ってしまいます。ある施設では、マスクを洗って再利用、再々利用しておりました。どこの施設でも一緒だとは思いますが、やはり現物があるかないでは違うと思いますので、これからも継続的な支援をよろしくお願いいたします。

最後に、これまでたくさんのコロナウィルス関連の質問をさせていただきました。当町においても、新型コロナウイルスによる地域経済への影響、そして地域住民の不安解消に努めるためにも、財政も厳しい中難しい問題ではありますが、共に頑張りましょう。

次に、子育て世代への再質問をいたします。私も子育て世代のひとりですが、当町では子育て世代への支援、特に子育てに係る費用への助成に関しては、他の自治体と比べると手厚いとは感じています。それは今別町の政策の特色でもあり、もう少し認知されてもいいと思います。例えば他の自治体では、子育て専門のサイトを立ち上げ、町のホームページ

と連動させる、また、デザインに子どもたちのイラストを使うなどの取組み、工夫を凝らしています。当町でもよい政策を行っていると思いますので、町内はもとより、町外の方々にも周知していただき、今別町は子育てに力を入れていると、目に見える形でのアピールも必要だと思いますが、見解をお聞かせください。

○議長 (本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長 (佐渡 慶剛 君)
今本間議員のほうからご提案いただいたホームページ等の活用というものも、これから担当のほうとも、掲載できるよう検討して行きます。

○議長 (本郷 良克 君)
本間議員。

○1 番 (本間 闘士 君)
せっかく良い政策をしても、周知されなければ意味を成さないこともあります。また、子育てをするお母さんは、育児の合間に役場への提出書類を書いたり、ホームページで調べたりしています。そんな時に、町のホームページが、より具体的で詳細なども書いてあれば、とても助かると思いますので、情報の整理、また見やすさ等の工夫をよろしく願いいたします。
以上で質問を終わります、ありがとうございました。

○議長 (本郷 良克 君)
1 番議員の質問を終わります。 【10:33】
3 番 田中 哲也 議員に質問を許します。

○3 番 (田中 哲也 君)
あらためまして、おはようございます。3 番 田中 哲也です。本当に、世の中この新型コロナウイルスでたいへんなことになっていますけれども、負けじと、今別町も頑張ってい

かなければいけないと思います。

私からは大きく分けて質問事項は二つ、要旨として3つありますので、よろしくお願いいたします。

まず一つ目は、中央団地側溝整備工事業者についてです。5月に中央団地の土木工事を地元業者が落札していますが、実際工事を行っている業者は町外の業者です。なぜ町外の業者なのか伺いたいと思います。

もう一つは、コロナ対策についてです。町民の負担軽減の対策として、水道料金の減額または免除などが有効だと考えられるが、そういったことが可能であるか伺いたいと思います。これは先日、新聞にも、質問が終わったあとで、新聞でも報道されていました。

もう一つは、今後の町のイベント・行事等をどのように考えているのか伺いたいと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

それでは、3番 田中 哲也 議員のご質問にお答えをいたします。議員からは大きく2点の質問が出されております。質問1として、中央団地側溝整備工事業者についてということで、地元業者が落札したのに、なぜ町外業者が工事しているのかということ。質問2として、コロナ対策について。町民の負担軽減対策として、水道料金の減額又は免除について。また、今後の町のイベント・行事等をどう考えているのか、というご質問ですが、先ほどの本間議員にも答弁いたしましたように、現在までに行われてきたもの、それから広報・新聞等で報道されてきたものもありますので、担当課より答弁させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長

(平山 寛哉 君)

おはようございます。3番 田中議員の質問1、中央団地側溝整備工事業者について答弁いたします。

同工事については、町内の業者が落札し、一部工種については町外業者と下請契約を締結して、現在工事を進めております。また、請負金額によっては建設業許可などを取得した業者が必要となりますが、今回は軽微な工事であり、下請業者の有無または選定などについては、特に規定はありませんのでご理解をお願いいたします。

続きまして、質問2のコロナ対策について、要旨の1といたしまして、町民の負担軽減の対策として、水道料金の減額又は免除などが有効だと考えられるが、そういったことが可能であるか伺いたいという質問について答弁いたします。

当町では、国の緊急事態宣言に伴い、外出自粛や学校施設の休校など、期間中の水道配水量が通常時に比べて約15%の増量となり、町民の経済的負担などを軽減するため、4月10日から5月10日まで使用した6月請求分水道料金について、官公庁施設を除いた全世帯を免除いたします。

以上、よろしく願いいたします。

産業観光課長

(山田 基 君)

あらためまして、おはようございます。私のほうからは、コロナ対策の二つ目、今後の町のイベント・行事等をどのように考えているのか伺いたいということに答弁させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、当町でも主要イベントである春まつり・夏の荒馬まつり、また、津軽海峡今別産ウニまつりなどのイベントや行事などが相次いで中止となりました。今後予定されております秋まつり等のイベントの開催につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言は解除されたものの、感染拡大には予断を許さない状況が続くと思われます。

今後とも、国内外の動向を踏まえながら、安全で安心な実施体制を考えつつ、町民の皆様に元気を与えられるようなイベントの開催について関係者とともに検討してまいりたいと

考えております。

○議長 (本郷 良克 君)
田中議員。

○3 番 (田中 哲也 君)
まず一つ目、中央団地の町外業者の件なんですけれども、了解いたしました。この工事なんですけれども、町営住宅も新築されています。その時に、側溝もできればいっしょに工事でできればいいのかなと思うところなんですけれども、なぜいっしょにできなかったのか、お願いいたします。

○議長 (本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長 (平山 寛哉 君)
同工事については、建築、土木と一応分けておりまして、一括発注はちょっと困難だったため、分けて発注しています。

○議長 (本郷 良克 君)
田中議員。

○3 番 (田中 哲也 君)
町営住宅が完成して、入居者が入りました。その後も工事が入っています。入居者には当然お話されていると思うんですが、新築で入って、にもかかわらず後ろでガチャガチャ工事されるのも、入居者としてはちょっと心苦しいところもあるのかなと思いますので、もし今後そういう工事があるのであれば、なるべく土木と建築と別ではあるとは思いますが、同時進行で進めてもらえると、入居者も気持ちよく新居に住めるんじゃないかと思いますので、その辺は検討もお願いいたします。

次に水道料金の減額の件なんですけれども、新聞にも6月請求分が免除、となっていました。町民にとってはすごいありがたいことです、ありがたいことです、このコロナに関

しては、いつどのように収まるかもまだ分かりませんし、未知の世界です。一ヶ月無料とかじゃなくて、今後、例えばですよ、3ヶ月分基本料金半額とか、6ヶ月間基本料金半額などの長期的な減免措置等の考えはないのでしょうか。

○議長 (本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長 (平山 寛哉 君)
今回の措置については、緊急事態宣言に伴う期間中の動向を見ての対策ですので、今後またそういった、コロナウィルスが第2、第3の拡大といったふうになった場合は、検討したいと思います。

○議長 (本郷 良克 君)
田中議員。

○3番 (田中 哲也 君)
このコロナの収束に関しては、誰も全然見当がつかない状況です。各家庭も、お年寄りから子どもたちも、手洗い・うがい等、水道料金はますます負担になってくると思います。これだけじゃなくて、長期的に手入れをするような政策をぜひ考えてもらいたいと思うんですけれども、その辺は町長、どうお考えですか。

○議長 (本郷 良克 君)
町長。

○町長 (中嶋 久彰 君)
担当課長が申しましたように、今後の対策については、色々状況を見ながらしっかりと、先ほども申しましたように、しっかりとこれから対応していきます。水道料金についても、これからまた色々な部分で状況が変わってくれば、それなりの対応を考えていかなければならないと思っております。もちろん、水道料だけではなくて、各種支援についても同じように考えておりますので、ご理解の程よろしくお願

いたします。

○議長

(本郷 良克 君)

田中議員。

○3 番

(田中 哲也 君)

水というのは、生活に最低限必要なものであります。コロナ対策についても、手洗い・うがい、その他もろもろの水関係に関してこれ以上に使われていくと思いますし、これからまた夏に向かって暑くなっていくと、シャワーとかお風呂だったり、水を使う頻度が多くなってきます。その辺でもそういう対応を町が徹底して町民のためをお願いしたいなと思いますので、検討のほどよろしく願いいたします。

次に、町のイベントについてです。荒馬まつりもなくなり、春まつりもなくなったり、町民がすごい楽しみにしているお祭りがすべてことごとく中止になっています。それに伴って、荒馬団体も夏の荒馬まつりの「お花」がもらえなくて、運営にすごく困っていると思います、活動資金として。秋まつりは検討中ということなんですけれども、これは本当にのほうですけど、もそうだと思いますし、実行委員会もそうだと思います。やりたいのは山々だと思います、皆がやりたいのは山々だと思うんですけれども、何せこのコロナウィルスに関しては、どのように進入してくるかは分かりません。分からないし、祭りを開催したとしても、「町外から来るな」「あそこからは来るな」とは言えない状況になりますので、非常に難しい問題だと思います。本当に検討してより良く考えながら、何とか9月じゃなくても、10月とか11月とかでも開催できればなと思ってはいるんですけれども、なかなかこの先どう動いてくるか分からない状態なので、何とも言えないとは思いますが、何とか町民のためにも開催できる日が来ればいいのかなどは思いますので、なかなか決断するには本当に難しい判断だと思います、と思いますが町民も楽しみにしていますし、あらゆる団体楽しみにしていると思いますので、何とかこのコロナが収まって、開催できることを祈って、僕からの質問は終わりたいと思います

す。以上です、ありがとうございました。

○議長

(本郷 良克 君)

3 番議員の質問を終わります。

【10:42】

5 番 成田 精市議員に質問を許します。

○5 番

(成田 精市 君)

5 番、成田 精市 あらためまして皆様おはようございます。始めに、新型コロナウイルス感染症でなくなられた方々、ご遺族の皆様に謹んで哀悼の意を表すと共に、療養されている方々にも心よりお見舞いを申し上げます。また、未知のウィルスと最前線で戦っておられる医療従事者の皆様には、心より敬意を表したいと思います。

それでは、通告に従って質問します。

1 番目に、町長の給与削減についてです。冒頭でも言いましたが、現在、世界中がコロナウィルスという未知の病気と戦っています。幸いなことに、今別町では現在、感染者、死亡者ともに出いていませんが、それでも気を抜くことはできません。今回のコロナウィルス感染症では、健康だけではなく、経済への多大な影響をもたらしています。今別町としても、これまでマスクの配布、町内の飲食店等への現金給付が行われ、今後も商品券配布、二度目のマスク配布等が検討されています。町民にとってはとてもありがたいことですが、町の財政負担を考えると、何の予算措置もなくただお金を使うだけではだめだと思います。

青森県では知事が 20%、副知事が 15%の給与と期末手当を削減し、これに追随し、七戸町、三戸町、板柳町、隣の外ヶ浜町でも町長の給与の削減が決まりました。町長は、「今別町は予算がない、財政はひっ迫している」と日頃から言っております。少なくとも他町村と同レベルである町長 20%、教育長 15%の給与と期末手当の削減は必要であると考えております。今別町の長として、町財政のためにも、町民に寄り添い、同じ痛みを分かち合うためには、私はこの削減は必要だと思いますが、町長のお考えをお聞きいたします。

2 番目に、観光地の清掃管理等の委託についてであります。

す。今年度の観光地等の草刈り業務は前年と同じ業者さんに委託したのか、また、委託内容は昨年度と変わらないのか、委託業務内容をお聞きします。

3 番目に、今年の今別町の荒馬まつりは、新型コロナウイルスのため余儀なく中止となりました。日本全国祭りやイベントが中止・延期となり、東京都では新型コロナウイルスのために蓄えの 8,000 億が底をつくと聞きます。青森県も、弘前市の桜まつりを筆頭に、夏場も 8 月各地で行われるねぶた祭りの中止が莫大な損失を経済に与えると思います。今別町でも例外ではなく、これに代わるイベント・企画等がもたらされないのか、ありましたらお聞きしたいと思います。

以上 3 問、私から質問いたします。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

5 番、成田 精市 議員の質問にお答えいたします。議員からは大きく 3 点の質問が出されております。質問 1 として今別町長の給与削減についてということで、財政負担を削減するために、町長・教育長の更なる給与削減が必要ではないか、質問 2 として、観光地清掃管理委託について、委託内容等、昨年度と同じ業者なのはなぜか、質問 3 として、荒馬まつり中止について、町としてこれに代わるイベント等は考えはあるのかということですが、1 点目の給与削減については私から、他の 2 点につきましては担当課よりご説明させていただきます。

まずもって冒頭に申し上げておきますが、議員からは日頃、町長は予算がない、財政がひっ迫していると言っていると指摘がありましたが、私は要求、提案に対して予算がないと言ったことはありません。また、財政がひっ迫していると言ったことはありません。痛恨の極みであります。ご承知のように、「当町の財政は大変厳しいものとなっております。」とか、ある自治体のリース等による庁舎建設、学校建

設の提案が話された時に、「数億、数十億の予算は現状では組めない。」と申し上げたことはあります。そのところは誤解のないよう申し上げておきます。

財政負担の軽減のために町長、教育長の給与の更なる削減を、との質問でございますが、報酬のご提案等をするのであれば、ご自身たちもこうするのでどうですか、というのが筋ではないかと思います。また、俗に言う、自分のことは棚に上げて、あなたはやりなさい、というのもまたおかしいものだと思います。また最近、他町村の減額が報道されておりますが、期間が12月までとか、3月までというものだと認識しております。私は就任した折に、財政状況を見ながら給与について減額の判断をさせていただくということで、10%の削減をしており、これを4年間削減ということにしております。現状ではこれ以上の削減は考えておりません。議員がおっしゃるように、町財政がひっ迫する状況になった場合は、私のみならず議員皆様も5%ではなく同等の削減をお願いしなければならないものと思っております。厳しい財政状況ではありますが、職員の皆様には財政状況等しっかりと認識して、職務を頑張ってくださいしておりますので、このような緊急事態にはならないと思っておりますが、今後も次の代、次代を見据えて行政運営にしっかりとリーダーシップを発揮してまいりますので、一層のご協力を、お願いをいたします。

また、今回のコロナウィルス感染対策につきましては、先ほども、また、この後の質問にもお答えいたしますが、町の財政出動はもちろんのこと、色々な対策、施策を講じていかなければならないものと思っております。議員皆様からも、積極的な議員活動のお時間の中でしっかりと調査して、ご助言等を頂ければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長

(山田 基 君)

よろしくお願いします。私のほうからまず1点目、観光地清掃管理委託についてお答えします。

観光地等の草刈業務については、町内施設等の環境整備の充実と、町民の皆様へ快適環境を提供するため昨年度から外部委託しておりますが、今年度についても昨年度同様、町内の４業者による見積入札を実施し、最低価格の業者と契約しており、結果的に昨年度と同じ業者となっております。

また、委託内容については、町道が１４路線、農道が３路線、公園が３箇所、観光施設等９箇所の草刈業務となっており、公園等の広範囲を除草するための乗用草刈機や機器の運搬用軽車両等は、入札時の仕様書に基づき、運転業務も含めて委託契約しているものであります。

次に、荒馬まつりの中止についてお答えします。

国による緊急事態宣言は解除されたものの、国内外では現在も新型コロナウイルスの感染者が連日のように報道され、その脅威はまだ継続中であると考えています。町では感染予防に配慮しながら、徐々に会議や各種事業、小規模イベントを回復実施させています。

しかしながら、全国各地から多くの集客力がある荒馬まつりに代わる今年の大規模イベントの実施は難しいものと考えます。今後も、感染リスクを伴うイベント等の開催につきましては、町民の皆様の安全を第一に考え、各地の動向を注視しながら、観光協会を中心とした関係者の皆様と協議検討し、今できるイベントから住順次実施してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
成田議員。

○５番

(成田 精市 君)

町長の給料削減について質問いたしましたが、町長は現時点ではそれは考えていないということで、私たち議員のほうから先にそういう話を持ってくるのが筋ではないかというお話でしたが、自分は削減しても良いという考えは持っておりましたが、議員の皆様へ尋ねることなく、こういう質問をしたことは、私自身、町長に対して謝罪するところであります。ですが、現時点で削減している町村、三戸町、七戸町等

の町長の意見を聞きますと、自分たちも痛みを分かち合う支援をしていきたいとか、地元商店街は大変な状況である、祭り・イベントも中止になって、浮いた町の経費や国からの支援がある中で、追加支援をしていきたい、というふうな考えをお持ちの町長も県下ではおられます。

その中において、町長はこれから、コロナが町の財政を圧迫した場合の削減等は考えたことはないのでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)

町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

先ほども申しましたように、他町村の場合、今のコロナ対策を受けて削減に踏み切っております。それも、期間限定というところも多々あります。私は就任してから、財政状況を見ながらということで、今後4年間という期間をつけました。ですから、現状では他町村と比較する対象外だとは思いますが、議員のおっしゃるように、自分も痛みを分かちという部分では、10%削減をしておりますので、そういう部分では何ら支障はないと思います。それから、今後の状況に関しましても、国の補正予算等々を踏まえて、私どももしっかりと予算を獲得しながら、皆様にご迷惑がかからないように、しっかりとして支援をと思っておりますので、その部分ではご理解の程をよろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

町長は現時点で10%の削減をしております。私たち議員も5%の削減をしております。それもみな、町のためを考えての削減でありますので、これからも町のためを考えて、有事の際には、また更なる削減を考えていただきたいと思います。第1の質問はこれで終わります。

2 番目に、観光地清掃管理等の委託についてであります。

草刈り現場では、委託会社の職員が今別町の車両を使用して作業をしておりますが、業務委託の契約の中に、車両は含まれていると先ほど課長は述べられていました。その他に、車両保険並びに車検等はどうなっているのかお聞きしたいと思います。

○議長 (本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長 (山田 基 君)
車両等につきましては、先ほども申し上げましたとおり、町のほうの車両を使っていただいて、保険は、町の車両そのままでございますので、町のほうでやり取りしております。車検のほうも、町の方で整備したものについて、整備した車両で、乗っていただいています。また、その他の消耗品的な器材等につきましては、委託業者のほうの負担とさせていただいておりますので、よろしくお願いします。

○議長 (本郷 良克 君)
成田議員。

○5 番 (成田 精市議員)
今の車両の保険並びに車検等は町のほうで、ということで、理解しました。ただ、今まで業者さんと契約する…例えば2年くらい前に言っていましたが、この前は嘱託職員を募集して、採用していたと思うんですけども、民間からの採用を取りやめた理由、業者に移った経緯、またそれに対してメリットが発生しているのか、また町民の雇用を増やす意味でも、民間からの採用を私は望みたいと思いますが、課長の答弁をお願いします。

○議長 (本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長 (山田 基 君)
先ほどまでの答弁のほうでも申し上げたとおり、町内の業

者さんに委託しているところが、昨年からでございます。その前は、確かに嘱託職員を募集して、4名の嘱託職員で町内の草刈り業務を行っておりました、それに係る経費はだいたい、今の管理に係る経費よりも100万～200万以上も経費がかかっておりました。人件費です、ほとんどが人件費なので。それを少しでも町の負担軽減、業者はどうしてもプロでございまして、安全な草刈業務、それから環境整備により長けているといったことで、前回から、昨年から、委託によりまして業者のほうに委託している状況でございます。

○議長

(本郷 良克 君)
成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

ただ今の答弁では、メリットは人件費の削減、また業務に長けている、安全面にも優れているという理由で、民間よりは業者さんに託したほうが多大なメリットがあるということで、私も納得いたしました。

それでは、3番目の質問に移りたいと思います。

今年の今別荒馬まつりは、新型コロナウイルスのため、余儀なく中止になりました。日本全国祭りやイベントが中止・延期となり、東京都は新型コロナウイルスのために8,000億の蓄えがあったものが底をついたと聞きます。青森県も、弘前市の桜まつりを筆頭に、夏場8月、各地で行われているねぶた祭りの中止は、莫大な損失を経済に与えていると思います。今別町も例外ではなく、これに代わるイベントが何とかできないものかと私は考えておりますが、先の田中議員の質問ともだぶっておりますが、なかなか難しいコロナウィルス、そう簡単なものではないという意見で納得しました、ただ、先般、6月9日の今別商工会の役員会で、8月4日の今別海フェスタ、また、9月27日の今別秋まつり、これを役員会の中では開催したいという意向で進めていきたい、そういうふうに会議で決まりました。これも条件つきであります。やはり新型コロナウイルス、簡単に考えて、途中で(感染)爆発するようなことがあると、全部チャラになるわけで

す。ただ、こういう情報が入っただけでも、商売をしている方々は、ひとつの明るい光を見たような感じで、すごく喜んでおります。これから祭りに対して、先ほども田中哲也さんも言っていましたが、今まで参加してくださってありました町内会の荒馬まつり団体、また他町村からおいてになる方々にも合ったフォローが、私は大事だと思っておりますが、その点ではいかがでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)

山田課長。

○産業観光課長

(山田 基 君)

今後の祭りそのものについては、私自身もやりたい部分と、世の中の方皆おっしゃられますように、とてもこのコロナウィルスの収束が見えない中での決断になっていきますので、とても厳しい状況だとは認識しております。ただ、事務局としては、産業観光課の事務局としては、さまざまな場面で、そういうものも想定しながら、準備のほうだけは、最低限の分だけは進めていかなければ、さまざまな物事が動きませんので、それらを進めていって、また、荒馬まつりに参加していただいた方々については、職員のほうから、また観光協会さんのほうから、今年は参加いただけなくてたいへん申し訳ございませんとって手紙等も含めまして、来年はぜひまた、これまで以上のものを開催するので参加していただきたいというようなお手紙を、それぞれの団体なり、県外の方々にも発送しているところですので、引き続き皆様のほうからのご支援で、さまざまなイベント等が、これからコロナウィルスが収束した段階で、達成できるものと思っております。

○議長

(本郷 良克 君)

成田議員。

○5 番

(成田 精市 君)

先般の会議の時に、企画財政の太田補佐のほうから、ネット・DVD など、これから作って今まで支援いただいた方に

やったらどうかって、そういう話出たんですけれど、その点に対して太田補佐。

○議長 (本郷 良克 君)
太田補佐。

○企画財政課長補佐 (太田 和泉 君)
先日の行政説明会で説明しましたが、今回荒馬まつりが中止ということで、参加したり、楽しみにしている学生、またはこれまで参加してきている方々に、アフターフォローということで、DVD 等新たな支援を考えていました。先般の会議でも申し上げましたが、色々な媒体を使って情報発信、それらの支援を考えていますので、よろしくお願いをしたいと思います。

○議長 (本郷 良克 君)
成田議員。

○5 番 (成田 精市 君)
今の、情報発信、これはたいへん、今まで協力してくださった方々には大切なものであると考えますので、何卒よろしくお願いしたいと思います。
以上 3 問、私の意見をこれで終わります。

○議長 (本郷 良克 君)
5 番議員の質問を終わります。 【11:10】
7 番 福士 和比古 議員に質問を許します。

○7 番 (福士 和比古 君)
7 番、福士和比古でございます。2 点質問します。
時節柄、コロナ問題が多くなっておりますが、私からも 1 点目は新型コロナウイルスの問題点を質問させていただきます。
まず、質問の前にですね、このたびの新型コロナウイルス感染し、亡くなられた方々に対し、心から哀悼の意を表します。また、医療従事者をはじめ、多くの関係者のご努力に対

しても、厚く感謝を申し上げます。そして、テレビで何度も報道されていましたが、医療機関に勤務する先生、それから看護師の家族の方々が、いじめみたいな状態で非難されているということを聞いて、非常に残念に思っておりますので、私たちもそれを心に留めながら、そういった問題等があるのであれば、きつく対処していかなければならないのかなと、こういうふうに考えておるところでございます。それでは具体的に質問に入りたいと思います。

まず1番目、町長はじめ、職員も一丸となって今回のこのコロナウィルスの対策に頑張っておるところでございますが、色々な点から、先ほどから質疑を繰り返しておりますが、今回でこの対策は充分なのか、この点についてお尋ねしたい。

次に2番目には、このあと第二波等への対策、もちろんなければこれに越したことはないのですが、そういった状況になった時の対策は考えているのか。

それから3番目には、このコロナによる、色々な臨時出費が出ていると思います。その中での現在の財政はどのような状態なのか。

4番目は、これは、この点についてはどなたも同じような質問はなかったんですが、幸い今回わが町で今現在感染者は0でございますが、もしわが町に感染者が出た時、その受け入れ体制、治療等々はどうなるのか、ここのところ、わが町の診療所でこれを出来るのか、そういうところも具体的にお尋ねしたいと思います。

そして5番目に、このコロナ対策の一環として、国からの全国一律給付金の受付が始まって、もう進んでおりますが、わが町では一所懸命やって、いち早くこれについて行ったというふうにも聞いておりますが、落ちこぼれ等がないのか、確認済みなのか、その点を。コロナ関連5点についてお尋ねをしたいと思います。

次に、二つ目はですね、今までも非常に厳しく話してきました。職員の規律・窓口対応・挨拶についてでございます。

以前は、非常に私も厳しい口調でお話したことがありました。窓口対応が良くないという苦情が後を絶ちませんでし

た。

先日、よその役場へ所用があつて出かけてきました。うちのほうの役場から見ると、5～6倍くらいの大きな規模の役場です。もちろんお名前は申し上げることは出来ませんが、そこへ行ったら、対応が更にたいへんな状態でありまして、何を聞いてもピンと返ってこない。ここの役場、どうなんだと、ここの町長、どういう指導しているんだと、つい私も思ったんですが、それはもちろん具体的に話はできませんでしたので、帰ってまいりました。

最近のわが今別町の役場の窓口対応、挨拶、ともに極めて良好であり、町民からも好評をいただいております。まず、役場に入っても、後ろからでも声がかかってきます。「ご苦労さまです」「おはようございます」、すごいいい気分で、役場で対応することができます。

余談でございますが、故事の中に『鏡に向かって挨拶をすると鏡の中の自分も同じく挨拶を返してくる』、こういう故事があります。みなさんもちろんご存知の方も多いと思いますが、これは、自分自身のふるまいがそのまま自分に帰ってくるという有名な言葉でございます。町民は常に私たちの背中を見ております。私は、町民が雇い主で、私たちが雇われている立場である、このように考えます。これからも町民に慕われるような職員を目指して、共に励んで参りたい、このように思いますが、いかがでしょうか。

以上、2点伺います。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

7番 福士 和比古 議員の質問にお答えします。議員からは、大きく2点の質問が出されております。

1として、新型コロナウイルス対策についてということで、①町としてこれまでの対応は充分か、②今後の対策は考えているのか、③町の経済の建て直しは、④感染者が出た時の受け入れ体制は、⑤全国一律給付金等の受付等での対応はどうか、質問2として職員の規律・窓口対応・挨拶、と

(町長)

ということで町民の評判についてのご質問があります。私からは、2 番目の質問にお答えをします。1 については、先ほども他の議員に答弁いたしましたように、すでに発表されていること、行われていることもありますので、担当課より答弁をさせていただきます。

まず、職員の規律・窓口対応、挨拶についてということですが、私、就任してからかなりうるさく規律・挨拶については言って参りました。もちろん、服装を含めてであります。自らをを律する、ということにおいて、服装も第一の条件ではないかというふうに考えておりましたので、職員にはもちろん冬場はネクタイの着用、ジャケットの着用、職場に来てからの着替えは許しますが、それ以外、通勤、全部そういうふうにして下さい、というふうに言ってまいりました。もちろん、役場前、役場内でも町民に対して挨拶もしっかりやるようにと申して参りました。

最近、今議員からのお褒めにありましたように、たいへん良好な状態であるということは私も認識しております。まだまだ服装の部分では足りない職員もおりますが、これからまたおいおい注意しながらしっかりとした対応をしてまいりたいと思っておりますので、どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。また、議員の皆様からも、しっかりとご指摘をいただきながら注意していただければと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
総務課長。

○総務課長

(嶋中 拓実 君)

よろしくお願いいたします。7 番福士議員の質問 1、新型コロナウイルスの対応について答弁させていただきます。

町としてこれまでの対応は充分かにつきましては、県内においていち早く飲食店に助成金を給付、また、町民一人にマスクを 5 枚配布する等の対応については、町民から良い評価を得ております。

今後の対策は考えているかにつきましては、1 番本間議員

の答弁にもありましたが、町内の小売店、ウニの出品業者、遊漁船漁業者に支援金を給付、その他、町内の医療機関、福祉施設、こども園、飲食店等にアルコール消毒液を配布、町民一人に1万円の商品券、更にはプレミアム商品券の販売を考えております。

また、このような状況の中、自然災害が発生し避難者が出た際の対策として、避難所に設置できる災害・医療用緊急エアテント、また避難所において密を防ぐダンボール仕切り板、ベッド、更には赤外線サーモグラフィカメラの購入を計画しているところです。

町の経済の建て直しは、町民一人に1万円の商品券配布、プレミアム商品券の販売、この二つの商品券につきましては、先ほども言ったように、町内の商店のみで使用いたしますので、経済の建て直しに寄与するものと信じております。

感染者が出た時の受け入れ体制につきましては、保健所の指示において今後対策を講じてまいりたいと思います。

全国一律給付金の受付等での対応につきましては、職員の方々が丁寧に教えてくれてとても助かったとの声を聞いております。まだ申請されていない方を今後確認し、給付漏れのないようにいたします。

以上、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
福士議員。

○7 番

(福士 和比古 君)

まず、そうするとコロナ関係で伺います。始めに、今総務課長からの答弁でもございましたが、いち早くマスクの配布、給付に取り組んだ、これは非常に好評をいただいております。特にあの時は、どこに行ってもマスクが手に入らないという状態でありましたので、本当に皆さん、町民から喜びの声が聞かれました。それからだんだん日が経つことによって、今度はお母さんたちが手づくりのマスクを作ったりとか、お互いにまた自分が作ったものを差し上げたり返したりとか、そういうような苦しい中でも楽しい話題等も繰り広げ

られたような状況が見られております。

この次の、第二波等の対策、もちろん絶対あって欲しくないわけなんです、皆さんも聞いていると思うんですが、どこかの県の知事、あそこは感染者が0です。報道に、このように答えております。「できるものであれば、県境に関所を作りたい。それで、他県の車が入らないようにしたい。」という発言をしまして、少し問題ありきかなと思ったんですが、というのは、それだけ自分の（住む）土地を守りたいということですよね、切実な思い、素晴らしいなって思いました。ですから私たちも、そういったことはできるものではないのですが、自分自身の体はもちろん、家庭も家族ももちろん、わが町は私たちが守っていかなければいけない、そういう強い思いっていうのをお互いに持ち続けていかなければならない、この終息っていうのはいつになるのか誰にも予測がつかないわけですから、第2波、第3波もいつ来るのかも分からない、ちょっと東京のほうで規制を緩和したらすぐまた感染者が増えてくるという状態ですので、余談を許さないという状態になります。

それからこういうお話も聞きました。昨日、ラジオでしたね、他県ナンバーをつけた車が走っていた、私もふと…私、八戸に親戚が多いんですが、八戸に最初に感染者が出ましたでしょう、私の従兄弟とか八戸から来れば、「来るな、絶対今別さ来るな」といった話をした覚えもあるのですが、他県のナンバーをつけた車が走っていて、その後ろのウィンドウのところに『私は地元の人間です』というふうなメモ書きをマジックで書いて貼っていた、という話、みなさん聞きませんでしたか。それだけ気になっているということなんです。その人によって、東京で車買って、そのままナンバーを取り替えないで地元に戻ってくる人もあるわけですから、私は地元の人間でございましてマジックで書いた貼り紙しながら車で走っているというニュースも聞こえてございます。

いずれにしても、私たちは自分自身、繰り返しですが、自分自身の身を自分で守る、家族ももちろん守る、私たちは行政官として、また議会の一員として、わが町を自分たちの力で守らなければいけないんだということを、今の段階

で厳しく確認しなければならない、こういうふうに思います。

次にですね、この今回のコロナによる色々な臨時出費が出ております。マスクはもちろん、それから飲食店、美容室の助成金、水道会計も今回は0ですよ、と非常に予算にないものがどんどん、現在出ている状態です。そういう中で、もちろん町民を守るためにやらなければならない必要な事業です、絶対に無駄遣いではないですが、しかしその分、財政は厳しくなってくるわけです。当然これから、現政府の補助、交付金等も申請していかなければならない、そのような点からいっても、私たち町行政側、議会側が一致団結を示して、そして強い力で国、県にアピールして予算を頂戴する、という考えが私たち共々に大事なのではないかなと、こういうふうに思っておりますので、これからもお互いに協力をしながら、この予算の出費に対して、財政を賄っていけるように、お互いに協力をしなければならない、こういうふうに考えます。

次に、4番目の感染者が出た時の受け入れ体制、総務課長の答弁としましては、まず保健所のほうに伺いを立てるということ、もちろんそうなんです、これ、どうなんですか。初期治療として、わが町の診療所では、まったく出来ないんですか。町内の方にも一応、知らせておけるものがあつたら、知らせておいたほうがいいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○議長

(本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

まずもって、先ほど感染者が出た時の対応ということで、受け入れ体制ということで総務課長が回答したとおり、保健所の指導・指示に従うというのが基本になっています。

もし先ほどの説明の中での感染者の疑いのある人が出たということであれば、お話することはできるんですけども。それでもよろしいでしょうか。

そうすると、東青地域で感染の疑いのある症状の患者が出

た時は、医療機関を受診する前に、東地方保健所に設置している『帰国者・接触者相談センター』に電話連絡をします。症状が比較的軽く、本人が自分で行ける時は自力で、これは公共交通機関を利用しないで、自力で、帰国者・接触者外来を受診します。ひとりで行けなくても、家族がいる場合は家族が連れて行きます。自力で行けないときは、保健所の車両等で搬送可能と保健所が判断した時は、保健所の職員が医療機関に搬送します。ここで町の職員が連れて行くようなことはありません。ウィルスに感染が確認されると、患者は感染症指定医療機関、これは青森県にもあるんですが、に搬送されて、法的に入院となり、家族は保健所の支持により自宅のドアノブや手すり等を消毒します。ひとり暮らしの方については、玄関先のみ職員が消毒作業する場合があります。本人や濃厚接触者についての調査は保健所が行い、濃厚接触者となった人は2週間の外出自粛と、健康観察が行われます。もしも、今別診療所に感染の疑いのある症状の患者が受診する際は、医師や看護師は防護服を着用し、駐車場で他の患者と接触しないように診察をしたり、通常使っている診察室とは別の部屋で診察を行う、というような対応をするということになっています。

○議長

(本郷 良克 君)
福士議員。

○7 番

(福士 和比古 君)

分かりました。そうするとですね、もう一つ具体的に聞きます。例えば私が熱が出た、で2日、3日くらい熱が下がらなかった、よくテレビでもそういったものがいっぱい発表されてますが、その時点でまず真っ直ぐ、普通は病院に行きますよね。これが、自分がコロナ感染だって分かればいいんですけども、分からない場合は、普通は病院に行くと思うんですが、このいちばん最初、自分で熱が出たとか、コロナの症状みたいな状態になってきたと自分が感じたら、第1番目に取るべき行動はどうすればいいんですか。私が保健所に連絡すればいいんですか。

○議長 (本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長 (佐渡 慶剛 君)
先ほども触れましたけれども、風邪の症状や熱が、37度5分以上が4日以上続いたり、よくテレビで報道されている、匂いや味を感じない、そういうような状況になった時は、まず1番最初は『帰国者・接触者相談センター』これは保健所の中にあります、そこに連絡していただいて、その後保健所の指示を仰ぐ、そういうようなことになります。
(福士議員「本人がですね。」の声あり)
はい、本人です。

○議長 (本郷 良克 君)
福士議員。

○7番 (福士 和比古 君)
その保健所の受付の電話番号なんですが、町の広報誌に載ってたべかね。
(「載ってます。」「配布してます。の声あり)
書いてましたか、すいません、分かりました。
そうすると、まず確認ですけど、37.5°以上の発熱が4日間以上続いた、そういった場合、まず保健所のほうに本人が連絡をすると。直接自分が救急車に連絡したらダメなんですね、良くないんですね、分かりました。そういった確認しながらやっていかなければならないんだということでございます。了解しました。

次に最後の5番目なんですが、一時給付金の受付対応についてですが、もちろんお断りした人もあるかとは思いますが、この中でまだまったく分からない方もあるみたいです。それ確認取るのも大変だと思うんですが、例えば高齢者、半分ぼけたような高齢者のひとり暮らし、分からない、で、子どもも近くにいない、そういった点ですね、どうなんでしょう、か、どういうふうな確認する手順で、現在進めているのか、そういったマニュアルがあったら報告していただきたい

んですが。

○議長 (本郷 良克 君)
遠田補佐。

○総務課長補佐 (遠田 剛洋 君)
ただ今の質問ですが、現状、町のほうでまだ未申請の方は50世帯以下になっておりまして、7月下旬をめどに、申請していない方を家庭訪問して、申請書がそこに残っていないか、独り暮らしで分からない状態になっていないか確認して、全世帯の給付を行いたいと思います。
(福士議員「50世帯」の声あり)
はい、50世帯を切っています。

○議長 (本郷 良克 君)
福士議員。

○7番 (福士 和比古 君)
もう一点ですけどね、財政の問題の時に話をすれば良かったんですが、対策として、商品券を給付するというお話、先ほども質問1でもございました。これは、先ほどの1番議員に対する答弁でいきますと、町内に限ってということでございました。私もそのほうがいいかなと思います。もちろん、1番議員が言われた、聞かれた町民からの声というのもまた一理あると思いますが、今現段階ではやはり今別町の経営状態を総合的に勘案して、やはり今別町にこのお金を使っただいて、(お金を)落とすんだという意味では、更に効果的だと思いますが、この商品券、現在町で財源あるんですか、町長。

○議長 (本郷 良克 君)
町長。

○町長 (中嶋 久彰 君)
国・県の補正予算がまだ配分されておられません。本日この後に、皆様に明日議案審議に入っていただきますが、補正予

算の歳入歳出を可決していただいて、それからの申請というふうになると思います。もちろんのこと、国や県の割り当てはある程度決まっていますので、それを当て込んだ部分もありますが、それまでは町の基金取崩し等含めて、今言った財政を充てていきたいと思っております。

○議長

(本郷 良克 君)
福士議員。

○7 番

(福士 和比古 君)

町長の答えはそういうことでございましたが、いずれにしろ、この商品券にしろ、これからかかる経費、財源、これは国のほうの補助金・交付金が大きく影響してくるということでございますので、本当にこの点は真剣に考えてですね、私たち個人個人の考えだけではなくて、町全体のことを考えて、今どういうふうにしなければならないのか、どういうふうにすれば最善なのかなということを考えながら、これから進んでいかなければならないと、このように思います。コロナの問題は以上にいたしたいと思います。

次に、職員の規律・窓口対応・挨拶についての再質問、まあ質問って言うほどではないんですが、述べさせていただきたい、このように思います。

非常に、このあいだ、繰り返しになりますが、他所の役場に行って受付等の対応を見たときに、自分でも今別にいるときにいつも話をするもんですから、当然、他人のところに行っても気になります。まず本当に最低の対応でございました。本当に、ここの課長だの町長だのって、何指導しているんだべって思うくらい、いらいらして「いいから、分かった。」って、途中で帰ってきてしまいました。わが町は絶対こうであってはならないというふうなことを、私はもう何年も前から何度も何度も、職員の皆さんには「職員虐めの福士」だってここから言われるほど、私を嫌っておったでしょうけれども、しかし今は本当に、町長も先ほどお話ございましたとおり、本当に後ろからでも、玄関から入ってくれば後ろからでも、「おはようございます。」「ご苦労様でした。」っ

て言う声、私が議員だからって分かっているってということじゃなくて、来客したほとんどの人に声をかけてくる。そして、「どのような用事でいらしたんでしょうか。」っていうふうにすぐ伺いを立てる。まず素晴らしいなっていうか、感動です。本当に手の平返したように変わったな、こういうふうに考えております。で、それが当然ですが、町民はシビアに常に見ております。「まず今別の役場職員変わったな。」というふうに言われましたよ。私も何か自分が褒められているみたいで、すごい気分いい時間帯を過ごしております。ひとつこれからもですね、ただし、今言っている言葉が職員全職員に通じるものではないということも、幹部の皆さんですから、考えていただきたいと思うんです。自分の顔をずっと見回したときに、まだ、自分自身の胸に手を当ててみたときに、本当に、自分を鏡に映してみたときに、素晴らしい自分が返ってきているのかということを、ひとつ今日はお互いに勉強して終わりにしたいと思います。ありがとうございました。

○議長

(本郷 良克 君)

7 番議員の質問を終わります。

【11:42】

暫時休憩します。再開は 13 時 5 分からです。

○議長

(本郷 良克 君)

休憩を解いて会議を再開します。

2 番 太田 英一 議員に質問を許します。

○2 番

(太田 英一 君)

2 番太田です。午後もよろしくお願いいたします。まず、今回のコロナウィルスに感染された方々並びにお亡くなりになられた方々に、お見舞いとお悔やみを申し上げたいと思います。

私からは、3 点ほど質問があります。ちょっとマスクを取って…一つ目は、町単独助成金についてですけども、当町では、他町村に先がけ、飲食店や個人事業者等への助成金を給付され、県内の市町村から非常に注目されました。町長の判断と行政の努力に敬意を払います。

しかしながら、一部では助成金の給付対象の拡大、もしくは二次的な助成を考えているのかという声もあります。国・県等の政策並びに対応も変化するとは思いますが、今後の対応策や計画等がありましたら、お知らせ願いたいと思います。

次に、サーモンの個別販売についてであります。先日、第1回目の限定販売がされましたけれども、今後、町内で個別販売される可能性はあるのか、その点について、町内外の消費者から、今別町ではどこで買えるのか、というような質問もありましたので、個別の個人企業というんでしょうか、そういう企業なので、町としてどこまで回答できるか分かりませんが、出来る範囲内で回答をお願いしたいと思います。それに伴って、一次加工や二次加工の計画についても、もし承知している部分がありましたら、回答願いたいと思います。

それから最後に、移住定住促進住宅の建設予定についてでありますけれども、これについては、町と住宅メーカーとの協議での建設計画について、我々議会のほうにも数回わたり説明と協議がなされて、事業化が進められておりますが、今後の事業計画についてどのようになっているのかお聞きいたします。

以上3点について、よろしく願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

2番 太田議員の質問にお答えをいたします。議員からは大きく3点のご質問が出されておりますが、質問1として町単独助成金についてということで、今後の助成金の範囲についてということです。質問2として、サーモンの個別販売についてということで、一つ目としてサーモンの町内での個別販売の予定、二つ目としてサーモンの一次加工、二次加工の予定。質問の3として、移住定住促進住宅の建設予定につい

て、今後の事業推進予定と進捗状況ということですが、
も、担当課よりご説明申し上げますので、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
総務課長。

○総務課長

(嶋中 拓実 君)

よろしくお願いいたします。それでは、2 番 太田議員の質問 1、町単独助成金について答弁させていただきます。

町単独の助成計画としてお答えいたします。今後の対応につきましては、先ほども答弁いたしました、町内の小売店、ウニの出品業者、遊漁船事業者に支援金の給付を考えております。また、二次感染が拡大した場合においては、第二弾も考えて飲食店等に支援金の助成を計画していきます。以上、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長

(山田 基 君)

よろしくお願いいたします。私のほうからは、サーモンの個別販売についてお答えいたします。

津軽半島今別サーモンの販売については、漁協が中心となってこれまでも個別の注文に応じて販売しておりましたが、ある程度のまとまった数量が確保されることが条件となっておりました。

今回、新型コロナウイルス感染症対策が緩和されたことに伴い、数量限定ではありますが、今月 5 日から町民の皆様向けに生サーモンを販売しているところであります。今後の予定は、12 日と 19 日の 2 回、朝市形式で実施することとしております。生サーモンの出荷は、海水温上昇により 6 月中には完了する予定とのことですが、冷凍パックしたサーモンは漁協において継続販売する予定と伺っておりますので、ご利用いただければと考えております。

次に、サーモンの加工については、旧体育館前で行われて

いる、孵化場及び中間養殖施設の整備が完了し、安定的に今別産養殖稚魚の供給体制が確立され、更なる拡大数量が見込まれる場合においては、現在町外で加工され、全国出荷されているものを、将来的には町内に施設を建設し、一層の鮮度保持を図りたいと事業者から説明を受けている状況です。これにより、町内における雇用の場の確保と若者定住が図られるものと大きな期待を寄せています。

私の方からは以上です。

○議長

(本郷 良克 君)

岩渕課長。

○企画財政課長

(岩渕 健 君)

よろしくお願いします。私のほうからは、質問 3、移住定住促進住宅建設予定についてということで、現在まで移住定住促進住宅の建設計画について、数回の事前説明、協議がなされていますが、今後の事業推進予定等はどの程度進捗しているか、ということにつきまして答弁させていただきます。

今別町総合計画、『まち・ひと・しごと総合戦略』に掲げる人口減少抑制の施策として、町外からの移住を目的に民間資金、技術能力を活用した住環境整備を進めるに当たり、令和元年 12 月に議員の皆様にご説明し、事業内容等、町の考え方をご説明し、了承を得ながら今日まで 5 回、説明等を実施しております。

現在、事業者から示されたスケジュールに沿って進めているところでありますが、本定例会に提案する『今別町定住化促進住宅条例』、『債務負担行為』につきまして議決いただき、事業者と『定住化促進住宅賃借及び土地賃借契約』を行い、町が賃借する土地造成工事後の 7 月末から建設工事が始まり、11 月末に完成する予定となっております。また、9 月から入居者募集を開始いたしまして、12 月中旬より入居開始のスケジュールとなっております。

以上よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)

太田議員。

○2 番

(太田 英一 君)

町の単独助成金について、町独自ということでしたので、町の財政厳しい中、コロナウィルスで疲弊している町民に様々な面で貢献していると思われますので、今後更なる財政等の絡みも考慮しながら、出来る範囲で町民にそういう助成とかそういうものを行っていただきたいと。先ほどの答弁の中で、プレミアム商品券の件も答弁されておりましたけれども、プレミアム商品券で町内の資金の循環、町内での潤いが生まれることを望んでおります。そういう点について、プレミアム商品券等の活用を充分やっていただきたいなあと思っております。

町単独助成事業の二次的な考えについては、様々な面で色々あろうかと思えますけれども、行政のみならず議会とタッグを組みながら町全体を活性化していくために頑張りたいと思いますので、その点について、少し答弁いただければと思います。

○議長

(本郷 良克 君)

町長。

○町長

(中嶋 久彰 君)

議員のおっしゃるとおりでありまして、私ども単独ですべてができるものではなく、町民の希望や皆様が調査したご意見等々伺いながら、しっかりと皆様の支援に努めてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)

太田議員。

○2 番

(太田 英一 君)

はい、ありがとうございます。よろしく願いしたいと思います。

サーモンの個別販売についてですけれども、現段階で6月5日、6月の12日、19日と予定されて、まあ1回目は実施

されておりますけれども、今後の、加工とかそれに進むまでのタイムスケジュール的なものが町のほうでどの程度まで把握できているのかなと思ひまして、もし分かっていたら、個別企業なので様々な制約があると思ひますけれども、分かる範囲でお願いしたいと思ひます。

○議長

(本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長

(山田 基 君)

サーモンの加工等につきましては、先ほども答弁させていただきましたように、現在、旧体育館前で工事が行われております。これにつきましては、主な工事となっているのは中間養殖場の工事でございますが、あくまでもこれは一期工事ということでございますので、これに、更にまた中間養殖場の追加、それからまた孵化場の追加ということで計画がされておるようで、第1期の中間養殖場の工事は当初の計画だと6月いっぱいということでしたが、若干遅れていましたので、これが7月末頃にはなるかなとは予想しているものの、今後の進捗についてはそれらが完成して、先ほど述べさせていただきましたように、今別産の稚魚が安定的に供給され、もうちょっと施設、簡易養殖の（数量の）方も伸びた段階では加工というものに手をかけていくと、そういったことで伺っていました。

○議長

(本郷 良克 君)
太田議員。

○2 番

(太田 英一 君)

町にとっては非常に有効な事業、産業になる可能性がありますので、我々も協力できる部分ありましたら、協力していきたいと思ひますので、何卒、行政のほうでも支援体制ばっちり取っていただきたいと思ひます。

次に、移住定住の人の住宅のことでございますけれども、先ほど答弁いただいた予定について、今のスケジュールからいくとたいへんじゃないかなと思ひます。この点について我々は、

我々というか私自身としては、早急に進めていただきたいなと。これは、少子高齢化並びに人口減少の観点からも、総合的な立場で、今後移住定住促進住宅の建設、これに伴って、移住定住者の増加、または社会流出人口も抑制されると思われます。今別町では、幼児から18歳までの様々な政策が講じられており、子育て環境としては他の町村に決して引けを取らないものだと思いますので、そういう総合的な観点からも、今後の事業の進捗に期待しております。今後の事業の進捗について、何か先ほど以外のことで情報がありましたら、よろしくお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)
岩渕課長。

○企画財政課長

(岩渕 健 君)

今のご質問であります、取りあえずは、本定例会に提案しました条例と債務負担につきまして議決をいただきたいというのが第一であります。移住定住住宅を建てるということに関しては、津軽半島に唯一であります奥津軽いまべつ駅をどういうふうにご利用するかということが第一点でありまして、今の住宅の他には、現在町で行っております、議員がおっしゃるような経済対策ひっくるめた、それと、今年4月から新たに始めました通勤の助成も一つ、それを全体的にひっくるめて、今後PRしていきたいというふうに考えておりまして、ぜひとも今別に來てくださるようなPRをしたりと、様々な展開をしてみたいというふうに考えております。

○議長

(本郷 良克 君)
太田議員。

○2 番

(太田 英一 君)

はい、ありがとうございます。総合的に色々な政策のほうとも絡みが出てこようかと思いますので、ぜひ推進していただきたいと思います。私からはこれで質問を終わります。どうもありがとうございました。

○議長

(本郷 良克 君)

2 番議員の質問を終わります。

【13:22】

4 番 小倉 潤二 議員に質問を許します。

○4 番

(小倉 潤二 君)

最後の質問になります、4 番 小倉 潤二 です、よろしくお願いいたします。

始めに、新型コロナウイルスにより感染されお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すと共に、現在もまだ闘病生活をされている方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、医療に携われている方々、関係者の皆様には日々最前線で地域を支えていただき、まことにありがとうございます。医療従事者の方々のご健康と、一刻も早いウィルスの終息を願っております。

また、当町に置かれましては、マスクの配布、商店、飲食店への助成、10 万円の給付金等、早い対応が町民にたいへん感謝されております。町長はじめ職員の皆様には、町民を代表いたしまして、心より感謝を申し上げます、まことにありがとうございました。

それでは質問に入ります。私からは 3 点、1 つ目には鳥獣被害対策についてであります。主にサルなんですけれども。①つめ、サルの群れ、グループの数は把握できているのか、またその個体数は把握できているのか。②つめに、サルの頭数が増えた理由を伺いたいと思います。③つめに、これまでのサル被害対策の取組みとこれからのサル被害対策の取組みを伺いたいと思います。

2 つ目に、町内に捨てられるゴミについてです。道路、山林のゴミの量が増えているように見受けられるが、現在の対策と今後の取組みについてお聞きいたします。

3 番目に、山崎の加圧ポンプ所前方の海岸侵食についてであります。長年の侵食により陸地が削られ、大変危険な状態になっております。国道にも影響が出てくると考えられます。県に対する要望はなされているのか、お聞きしたいと思います。以上 3 点、よろしくお願いいたします。

○議長 (本郷 良克 君)
町長。

○町長 (中嶋 久彰 君)

4 番、小倉議員のご質問にお答えをいたします。議員からは大きく 3 点質問が出されております。

質問 1 として、鳥獣被害対策についてということで、①つめ、サルの群れの数、グループ数、その固体数は把握できているのかということ、②つめとして、サルの頭数が増えた理由、③つめとしてこれまでのサルの被害対策の取組みとこれからの取組みについて。

質問 2 として、町内に捨てられるゴミについてということで、道路・山林のゴミの量が増えていることについて、現在、そして今後の取組みについてということ。

質問 3 として、山崎の加圧ポンプ所前方の海岸侵食についてということで、長年の侵食によって危険な状態になっているが県に対する要望は、ということですので、担当課より答弁させていただきます。

○議長 (本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長 (山田 基 君)

よろしくお願いいたします。私のほうからは、1 つめの鳥獣被害対策についてお答えいたします。

サルの群れ数と個体数につきましては、平成 29 年度に実施しております生息状況調査では、8 群 200 頭程度が確認され、離れザルも 20 頭程度確認されております。

また、サルの頭数が増加した理由とのご質問ですが、平成 21 年度において県が実施した津軽半島北部地域におけるサルの実態調査でも 200 頭程度が確認されていることから、大きな増加は認められないものと考えています。ただし、森林伐採による餌となる広葉樹の減少は、サルの生活環境を激変させ、里山荒廃による田畑での農作物の摂取による高栄養がもたらす出産周期の短期間化が、これにより全体頭数が減少しない一因とも言われています。

今後の被害対策ですが、平成 29 年度頃までは 30 等前後の駆除数で推移したものが、今別町鳥獣被害防止対策協議会及び今別地区猟友会と連携強化により、巡回回数の増加や町内各所へ箱ワナを設置し、平成 30 年以降は、70 等前後の駆除実績となっていることから、この対策の継続実施を計画しているものであります。

また、毎年度町民の皆様を対象に、動物駆逐用煙火消費保安講習会を開催し、参加者に花火の使用方法等の講義を実施後、花火を配布し、受講者自らも被害対策へ取り組んでいただいております。

これからは、現在までの取組みと併せて、猟友会の隊員数の減少に対し、町で猟友会へ入会することを条件として、狩猟免許取得に係る費用の補助など、隊員数の確保にも取り組んでいきたいと考えております。

○議長

(本郷 良克 君)
佐渡課長。

○町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)

よろしくお願いします。4 番小倉議員の質問の 2、町内に捨てられているゴミについて、述べさせていただきます。

町ではゴミの不法投棄をさせないように、道路や観光地、山林等に看板を設置しています。今年は大川平地区にご協力をいただき、今別川の河川敷にも看板を設置する予定です。

これまでも町民の方々から情報をいただきながら対応してきていますが、今後も色々な場面でゴミや不法投棄について注意喚起していきますので、よろしくお願いいたします。

○議長

(本郷 良克 君)
平山課長。

○建設水道課長

(平山 寛哉 君)

よろしくお願いします。4 番 小倉 潤二 議員の質問 3、山崎の加圧ポンプ所前方の海岸侵食について答弁いたします。

山崎地区から、大泊与茂内地区までの海岸線については、毎年県へ要望し、離岸堤及び消波ブロック等の整備を進めて

おりますが、引き続き早期竣工を含め県に要望して参りますので、ご理解をお願いします。

○議長 (本郷 良克 君)
小倉議員。

○4 番 (小倉 潤二 君)
はい、ありがとうございました。まず鳥獣被害のほうからいきます。最近、季節柄なんですけれども山に食べ物がありますから、サルの方は民家のほうに降りてきているという報告はあまり受けていませんけれども。
今、8つのグループと個体数がおおよそ 200 頭というのはこれ、個体数は 1 グループ 200 頭ってことですか。

○議長 (本郷 良克 君)
山田課長。

○産業観光課長 (山田 基 君)
8つのグループ全体で 200 頭。
(小倉議員「全体で。」の声あり)
はい、全体です。

○議長 (本郷 良克 君)
小倉議員。

○4 番 (小倉 潤二 君)
はい、ありがとうございます。まあ私の小さい頃にはですね、サルは本当に珍しい動物だったんですよ。でも今はですね、何故か増えているんですよ。まずこの増えた原因としては、私二つあると思うんですよ。さっき課長が話されたとおり、山に食べ物がなくなった、これはまあ誰にでも分かっていることだと思うんですけども、昔あまりにも山の木を切りすぎたせいで、広葉樹の実がならないと、それでサルのほうが餌を求めて里まで降りてきているのがその原因だと思います。
二つ目にはですね、人間がサルに餌を与えているというこ

とが原因だと思われます。動物は学習能力が高いと言われて
いるんですけれども、その中でもサルなんですね。山に餌が
なくなると、どうしても里に下がってきます。で、その時
に、里に来ればサルのほうは「餌がある」と、そういうふう
に覚えてしまったんですよね。ではなぜサルに、人間が餌を
与えているって分かるかという、これちゃんとした根拠が
あるんですよ。そこで、皆さんのほうにお聞きしたいんで
す。これ、このサルの中でいちばん重要な問題だと思うの
で、ちょっと考えてください。なぜ人間がサルに餌を与えて
いるのか、全員で考えてください。あの、議長、考えている
うちに、ちょっと議員のほうにも聞いてよろしいでしょ
うか。

(議長「いいですよ。」の声あり)

いいですか。職員 of 皆さんよく考えておいってくださいね。

成田議員、お答えください。なんで人間がサルに餌を与
えているのが分かるのか。

○5 番

(成田 精市 君)

それ自体は分かりません、私は。ただ最近ですね、二股の
峠で、けっこうサルの群れが出てきている、けっこう子ども
も繁殖していて、5～6頭はいますよね。やっぱりそれだけ
増えているのかなと、私はその程度しか考えていなかったで
す。

○4 番

(小倉 潤二 君)

では同じ質問、本間議員にもお願いします。

○議長

(本郷 良克 君)

小倉議員、同じ質問は1人か2人にして下さい。

○4 番

(小倉 潤二 君)

では二人で。今皆さん考えているうちに。

(町長「餌を与えているかっていう意味」

小倉「人間が、サルに餌を与えているというのが
分かるか、という意味」の声あり)

- 1 番 (本間 闘士 君)
サルに人間が餌を与えている理由ですか。
- 4 番 (小倉 潤二 君)
その、与えられた餌を食べているというのが分かる理由。
- 1 番 (本間 闘士 君)
食べているというのが分かる理由は、農作物を畑などで作った場合に、(サルが) 食べるっていうのが、目に見えて分かる餌の根拠かなと思いますが、それ以外はちょっと分かりません。
- 4 番 (小倉 潤二 君)
はい、どうもありがとうございました。職員の皆さん、どうですか、分かりますか。なんでサルに人間が餌を与えているのが分かるのかっていうの、分かりませんか。じゃあ私のほうから言っちゃっていいですか。
(総務課長、挙手)
- 議長 (本郷 良克 君)
総務課長。
- 総務課長 (嶋中 拓実 君)
サルがすでに立っている場所で餌を作っているから、じゃないですか。
- 4 番 (小倉 潤二 君)
はい、まあそういうことも考えられるんですけども、いちばん分かりやすいのはですね、花粉症なんですよ。昔、人も、無農薬時代はですね、人間は花粉症、ありませんでした。花粉症が出たのは 30 年くらい前、25～6 年から 30 年の間からです。でサルも今、人間と同じ花粉症になっているんですよ。まあ当然、他の動物も花粉症が出てきていると思います。何で花粉症になるのか、これはですね、人間が作ったものに化学肥料を入れて作っているから、それで花粉症になるんです。これはもう確実です。例えば今、人間が食べているものでいちばん悪いのがインスタントラーメン、あと食パ

ン、まだまだいっぱいあるんですけれども、とにかく化学肥料を使っている、その食べ物が人間の体に悪い影響を与えているんですね、今までの体と変わっちゃっているんですよ。

例えば、田中議員も今いますけれども、牧草にも化学肥料使っていますよね、牧草にも今、化学肥料が入っている、それをサルが食べるんですよ、こまい新芽を。それで、花粉症になって、やはりこれも人間が作った餌を食べているからなんです。ご理解いただけたでしょうか。

では次にですね、いちばん最悪なのがサルの繁殖なんですよ。なんでサルの繁殖が増えてきたかという、これまで、サルが山のほうにいた時は、3〜4年に一度の繁殖だったんですけれども、人間の作っている餌があるということを知ってしまって、一年に一回出産しても、子育てが出来るんですよ。それで今、サルの数も3〜4倍に増えてきています。もう、今の襲月の人口（サルの）、1グループなんですけど、40〜50頭に近づいています、1グループですよ。そのぐらい繁殖力が今上がってきております。サルの栄養の取り方も上手くなったんでしょうね。ですから、子育て、一年に一回産んでも、子育てが出来ると。これではサルの数も増えるわけです。

まあこれまで箱ワナとか、花火とか、電気柵とか、あと猟友会による捕獲など、色々なことをして苦労しているのは分かるんですけれども、その(捕獲実績の)数を聞いただけでも、1グループでそのぐらいの数しか捕獲していないと思うんです。あとの7グループ、8グループのうちの7グループ、子どもが増えていつているんです、今。捕獲しているのにサルの数が増えている、まだまだ増えると思います。

昔は…カラスのことちょっと言ってみますか、カラスは昔、今の3倍ぐらいいたんですよ。そのカラスが今、少なくなってきたのは、皆さん気づいていますか。何でカラスがその当時…例えばもし100羽いたとします、昔はですね、家の裏とか海とかに、自分の食べた残飯とかそういうものを捨てていたんですよ。それで、そこからカラスが離れることが出来ない、そこに行けば食べ物があると知ってしまったんですよ、カラスが。ところが最近、そのカラスが減ったのは、行政の皆さんの力と、まあ地域の力もあるんですけれ

ども、ゴミの収集箱を作っていただいた、それがいちばんカラスには嫌なことだったんですよね。カラスも同じで、餌があると繁殖するんですよ。今カラスが、多分一羽に、産む数（卵）、カラスで一羽に一個だと思うんですよね。当然、餌がないとカラスも生きていけません。このカラスの減った、減らしたのはやっぱり、行政の皆さんと地域の人のおかげなんですよ、これはもう本当に、人間の勝利です。カラスの撃退は本当に大成功したと思います。それも、このサルにも、ちょっとのアイディアで何とかできることがあるかもしれません。

次に、サルの嫌いなもの、私調べてみました。いちばん嫌いな食べ物は唐辛子だそうです、まあピーマンも入りますけれども。それから、茗荷、わさび、コンニャクだそうです。まだそのほかにもあるかもしれませんが。で、この辺でいちばん狙われている作物は豆類とかジャガイモ、カボチャ、麦などなんです。そこで提案なんですけれども、これらの作物を守るためにですね、周囲に唐辛子を植えさせてみてはどうでしょう。また、二段構えとして更に、茗荷も植えてみる、これを行政の方々に農家に指導していく。この唐辛子にかかる費用は、種から植えるとそんなに費用はかからないそうです。

以前、唐辛子で町興しをした町があったと記憶していましたが。町長、知っていたら教えてください。

（町長「あの、私お話したことがあります。ちょっと今、名前ど忘れしましたがけれども、今まで3人しか来なかった観光客が30万人に増えたって言うところで、唐辛子で村おこしたところです、そういう町はありました、確かに。」の声）

はい、ありがとうございました。インターネットで調べても、ちょっと出てこなかったもので、ちょっと今聞いてみたんです、ありがとうございました。とにかくまずはやってみる、今までやったことのないものに挑戦してみる、もしこれで、このサルがですね、この場所から離れたら、この唐辛子である程度効果が出たということになります。今、町長のほ

うからも、南のほうでそういう町、村おこしをしたっていうところもありました。もしこれで成功したら、この今別町もこの唐辛子で何とかこう、財政の一部の助けになるんじゃないかと私は思っています。サルも追い出せる、唐辛子で町の財政も少しは良くなると、一石二鳥だと思います。やってみる価値はあると思います。まあ収穫した唐辛子は、後々考えていただいて、いかがでしょう、課長。

○議長

(本郷 良克 君)

山田課長。

○産業観光課長

(山田 基 君)

サルの嫌いな作物、議員が今おっしゃられたように、辛味の強いもの、香りの強いもの、それからアクの強いもの、これらの作物については食べない傾向にあるといったものですが、ただ、それらを食べないんですが、引き抜いて、いたずらして周りを散らかしていくといったものも考えられます。そこで、サル被害、議員がおっしゃられた、そういう作物を作成するという方法も一つの方法だと思いますし、また、もう少し簡単に出来るのは、やっぱり、これまでも話していたんですけれども、例えば畑とか、田んぼとか、収穫したあと結構残している部分がある。例えば、大根でも白菜でも、小さいものだったら取らないとか、ジャガイモであっても、途中まで掘って、あとのところは掘らないとか、もそうです、それらのものをそんなふうに残さない。それがサルの餌になるものですから、残さない。残さないで収穫してしまって、サルが食べられない状況にする、と。

また、それらの時期以外の、例えば冬場でも、民家の近く、身近に降りてきたサルは追い払う。とにかく、人は怖いものだという認識を持たせる必要があると思うので。冬場だとほとんどの人が見て見ぬふりをします。なので、そうすると春先に当然また来るんです。なので、それらを含めて、私たち行政の指導もそうだし、今後の指導もちょっと複雑なのかもしれませんが、そういう形で一つずつ積み重ねていく必要があると思っていました。

○議長

(本郷 良克 君)
小倉議員。

○4 番

(小倉 潤二 君)

ありがとうございました。まったくそのとおりなんです。とにかく、今までの追い払いの失敗なんですよ、追い払い。先日、5月2日ですか、荒川、東京の荒川河川敷で、自然の鹿が現れて、その捕獲に30人も40人も50人も追いかけていました。この辺の人は、サル、もう見慣れたんでしょうね、何頭来ても何十頭来ても、「また来たか。」これで終わっているんですよ。これじゃあもうだめなんですよ。だから、もうとにかく逆に、サルが人間を威嚇している状態なので、人間のほうがサルを威嚇しないと、また同じくそこに来るんですよ。で、今までその繰り返しでいったんですけれども。サルを見ても、猟友会の人に依頼しても、まあ日中仕事持っている人もいるし、距離の遠い人もいるもので、なかなか来てくれない。で、そのうちに、来た時にはもうサルもいない。鉄砲も撃てない。今までそんな状態でしたので、サルがもう、何て言うの、人間を怖いって言う感じしていないんでしょうね、多分。だから何回も来る、そうしているうちに、住民の人は慣れてしまっているのか、知らんぷりですよ。ただ、畑のものをやられた時にはすごいショックなんですよ、その時はもう一所懸命になるんですよ。まあ猟友会も、さっき課長のほうからも、補助金を使って鉄砲の資格を取らせるという、(ただし) 猟友会に入った限りは、でしたけれども、まあ人数的にも、もう今は足りなくなっているし、これからは猟友会の人たちも高齢化になっていくので、とにかく猟友会のメンバーになるべく人数を入れて、各地区に配置できる人数にして、このサルの追い払いを徹底してやっていきたい、やって欲しい、そう思います。現在のところ人的被害はないんですけれども、生産者であるおじいちゃん、おばあちゃんですね、孫や子どもや親戚に送るために作っている作物なんです。それが、数時間である団体さんが来たら、数時間で畑のものがパーになっちゃうんですよ。その一所懸命作った作物ですね、そのパーになった作物見たら、直接的な被害じゃなくても、心の被害、精神

的な被害はすごいものだと思います、おじいちゃん、おばあちゃんにしてみれば。

いずれにせよ、このままではサルは本当に増え続けます。すでに1グループの個体数は、その地域の人口を超えていると思うんですよ。いかにサルを捕獲するか、サルを追い払うか、うまい方策ができるのか、それが課題だと思います。人間とサルは共存できません。とにかくサルの嫌がることを徹底してやる、私はこれがすべてだと思ってます。意味は違いますがけれども、昔「去るものは追わず」と言いました、違います、サルは追わなきゃだめです、追い払わなきゃだめです。これからは人間とサルの知恵比べです。これからの行政に期待をしまして、このサルの質問を終わります。

次に、2つ目に、町内に捨てられるゴミについてであります。以前にもゴミの問題で質問いたしましたが、看板等と呼びかけているものの、一向に減っていない、むしろ増えている、そんな感じがします。で、最近、季節柄なんですかね、山に山菜採りに入る人が多くなっていて、その山菜採りに来ている車の中、ちょっと見たことがあるんですけども、ゴミがすでに積まれているんですよ。で、何十箇所もあります、ゴミが捨てられる場所。多分、人が通った時、捨てられないで車の中にまだ置いていたんでしょう。いつの間になくなっていく時もあります。多分それ捨てていっているんですよ。主に軽トラ、幌のついた軽トラです。確かに林道の入り口には大きい看板も立ってあるんですけども、それでもゴミを捨てていく、ちょっと私も考えられないんですけどね、山林の場合はもうどうにもならないんですよ、時間が分からないんですから。朝早い人もいるし、遅く来る人もいるし、ただこのあいだ、浜名橋、道路は知っているんですよ、浜名バイパスのあたりです、私、字7時頃ですね、三厩のほうから来たら、白い車から白いゴミが捨てられたんですよ、朝7時頃です。で、すれ違った後見たら、やはりコンビニゴミですね。袋のまま捨てられていきました、白いハイエースでしたけれども。顔はすれ違いざまなんで、ちょっと分かりませんでしたけれども、多分時間から、他所の人、よそ者ですね。工事関係者だと思います。まあ私の思い違いか

もしれませんけれども。傍若無人という言葉があります。意味としては、人目を気にせず、勝手気ままに振舞う人です。言わば、サルと同じですよ、人のことを考えない。

この、他所から来た、よそ者の人たち、その人たちが町の生態系を、これから何か変えてしまうような感じがするんですよ。どうしたらこのゴミを捨てる人の意識を変えることができるのか、もっともっと行政のほうでも、我々も含めてですね、考えていかなければならないと思います。確かに看板の設置は必要です。しかしそういう生易しい対応じゃもうゴミは減らないと思います。そこでどうでしょう、警察に協力を依頼して、頼んでみて、ゴミの取り締まりをしてもらう、課長、いかがでしょう。

○議長

(本郷 良克 君)
佐渡課長。

町民福祉課長

(佐渡 慶剛 君)
今の議員の、「警察に協力を」ということですが、基本的には粗大ゴミとかそういうものは、まず行政のほうに連絡が来るっていうのが、今までの考え方です。ただもちろん、悪質な事例、そういうものについては、今後警察とも連携しながら、対応に努めていきたいと考えております。

○議長

(本郷 良克 君)
小倉議員。

○4 番

(小倉 潤二 君)
ええ、そうですね。警察のほうに、スピード違反の取り締まりだけでなく、このゴミの不法投棄の問題も含めて取り締まりの強化、警察の方と会う機会があったら、私のほうからも言っておきますけれども、行政のほうからもそういうことを伝えていただければ。とにかく1回取り締まりをして、捕まえたら新聞報道とかマスコミを使ってもらって、1回名前を公表したらいいんですよ、こういう人たちは。そうしないとですね、直らないと思います。例えばですね、最近変わってきている業種っていうか、人たちがいます。それは

釣り客なんですよ、この辺に来ている釣り客。ここ2〜3年、半分くらいゴミが減っているんです、釣り客のゴミが。何でかなと思って調べてみたら、釣り番組、夜遅くに入っているんですけれども、必ず番組の終わりにプロの釣り人が、つぶやきみたいな、そういう言葉で「ゴミは持ち帰ってください。」、当然釣具の販売店でも、言っていると思うんですけれども、プロの釣り客たちのつぶやきが、すごく効いていると思うんですよ。ちょっとした言葉なんですから、幾月の釣り客、ゴミが10分の1くらいに減りました。昔、年2〜3回ゴミ拾いしたのが、今はゴミ拾いしなくても良くなっているんですよ。そのように変わってきています。で、当町でもですね、あと再質問って言う質問はないんですけれども、コンビニゴミが道路のほうにすごいあったんです。やはりこれ、コンビニのほうにも注意を促して、協力を呼びかけてみてはどうでしょうか。そうしないと、このコンビニゴミ一袋、すごいんですよ、こんなに入っているんですよ（手で大きさを示しながら）。たった今買って行ったカップラーメンのそれも入っています。ですから、それもコンビニゴミには変わりありません。絶対コンビニゴミだと思います。まあいずれにせよ、町にゴミを捨てさせない、サルと同様、徹底して取り組んでいく必要があると思います。国定公園というこの風光明媚な観光地があるということを忘れずに、綺麗な町づくり、ゴミのない町づくりの実現をお願いして、ゴミの質問を終わります。

最後、3番目です。山崎の、昔の「いこいの宿」ですか、あの向かいの、前方の海岸です。現場を見てみれば分かるように、侵食が大分進んでいます。まあこの現場はですね、以前県のほうでも潮流の調査とかしているはずなんですよ。そのへんからもう侵食がちょっとずつ始まってきていたと思うんです。この場所は国道にも大変近いんですよ、今侵食が激しくて。この上は民家が1軒あるんですよ。現場を見れば分かるんですけれども、もうえぐれている部分が2m、3m酷いところではもう本当に危険だと思います。このほかにも目に見えない危険な場所があると思います。行政のほうでもパトロールの強化、常日頃からのパトロールをしていただい

て、県のほうへの要望をお願いしまして、私からの質問を終わります。ありがとうございました。

○議長

(本郷 良克 君)

4 番議員の質問を終わります。

これをもって一般質問を終了いたします。

本日これをもって散会いたします。

【14:02】